

第四回 吉野作造研究賞

概要



最優秀賞 武藤秀太郎氏講演（10月25日）

い研究者に対しても、『吉野作造研究』への一般投稿に関する規定を定め、同誌第九号から論文の投稿を募集しています。

.....

吉野作造が終生後進の育成に取り組んでいたことに鑑みて、吉野作造記念館では若手研究者の育成と吉野の精神の継承、吉野研究の裾野の拡大を目的とした「吉野作造研究賞」を設けています。応募資格は募集年次の四月一日時点で四〇歳以下の者、対象となるのは政治史・政治思想史等を主題とし、未発表か、もしくは募集年次の三月末日から過去二年以内に刊行・発表された著作・研究論文です。

なお、応募条件を満たさな

いご講演を頂きました。なお、受賞論文は『吉野作造研究』第一二号（二〇一六年四月）に掲載されます。

.....

最優秀賞

武藤秀太郎

「吉野作造と中国知識人

—キリスト教青年会

(YMCA)との関連を

中心に—

(書き下ろし)

審査委員会

○審査委員長

宇野重規

(東京大学社会科学研究所教授)

○審査委員

村井良太

(駒澤大学法学部教授)

○審査委員

大川真

(吉野作造記念館館長)

(役職は二〇一六年三月現在)
記念講演会来場者数…二五名

第九回吉野ネットワーク

人材育成研修会

九月四日～六日

吉野作造を通じた全国的な人的ネットワークの構築を目指し、読売・吉野作造賞受賞者の先生を中心に始まった人材育成研修会は今年で第九回。毎年多くの講師と学生の皆さんにご参加いただいています。今年の参加学生は、東北大学、慶應義塾大学、青山学院大学、京都大学、駒澤大学から集まった計一八名。全体テーマは「日本のデモクラシー、生誕百周年」で、吉野作造が民本主義を説いた代表論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」の執筆から一〇〇年になるのを記念し、過去・未来の日本の民主主義のあり方について学ぶ場になりました。

初日の四日には荻部直・東京大学教授による基調講演「日本のデモクラシー、生誕百周年」が一般公開で行われました。場所を中新田交流センターに移した二日目は、武藤秀太郎・新潟大学准教授による「吉野作造と福田徳

三」、清水唯一朗・慶應義塾大学准教授による「戦後七〇年目の日本研究—アメリカ、ヨーロッパ、日本」の二つの講義、吉野作造記念館に戻った最終三日目には、成果報告会として講師陣による一般公開のトークセッションを行いました。

各講演・講義は、『吉野作造研究』第一二号（二〇一六年四月刊行）に掲載予定です。

一般公開来場者数

四日…四四名

六日…三九名

